

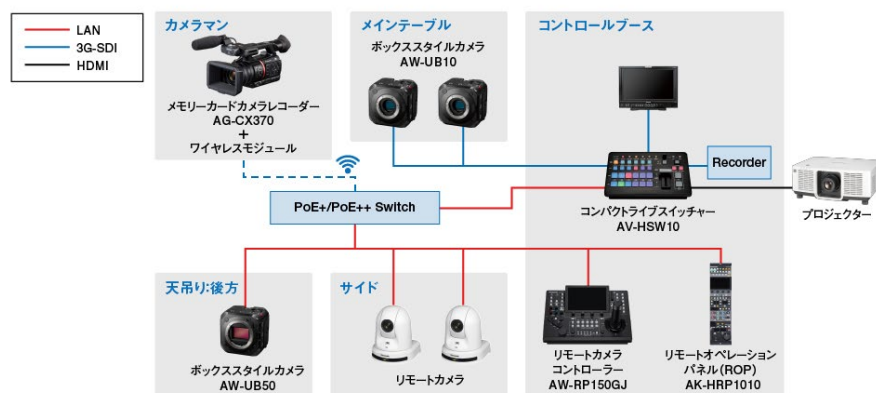
カメラマン+遠隔操作できるリモートカメラで、カメラアングルにバリエーションが増え臨場感が高まる。

会場内にいるカメラマンが撮影するカットの他に遠隔操作できるリモートカメラを使用することで、カメラアングルにバリエーションが出て臨場感が高まる。

また近年シネマティックなテイストを求められるエンドロールムービーにも、一眼レンズのボックススタイルカメラで撮影することで高いクオリティの映像を制作することができる。

さらに、手持ちカメラとリモートカメラ / ボックススタイルカメラを併用することにより、万一撮影トラブルがあった時でもそれらの撮影素材をバックアップとして使用することができる。

## システム構成図



ボックススタイルカメラの  
その他の想定活用例はこちら

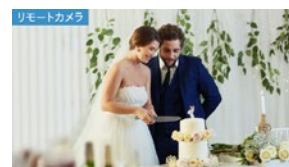


ボックススタイルカメラの  
製品情報はこちら

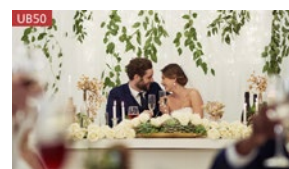
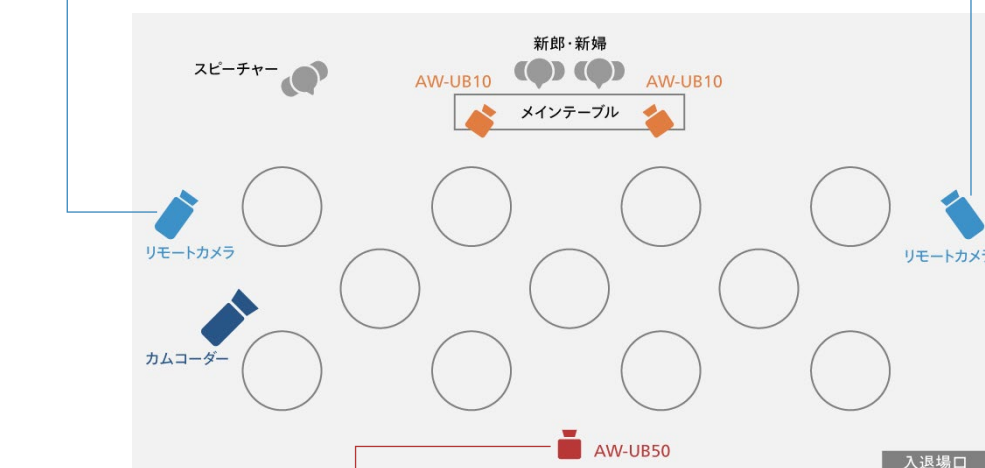


## 機器設置イメージ

AW-UB50/UB10+  
カムコーダー + リモートカメラ



※画像はイメージです。



 AW-UB50 x 1  AW-UB10 x 2

後方中央からメインテーブルの新郎新婦を撮影、  
両端にも設置し多角的にカバー

 リモートカメラ x2

サイドからメインテーブル方向を撮影、  
入退場や余興などの動きを中継・記録

■ カムコーダー x 1

フリーで会場内を記録撮影、  
イレギュラーなアングルにも対応